

## 対象者様への説明・情報公開文書

### 「北海道の ST 上昇型急性心筋梗塞における虚血時間と治療の実態調査」

#### はじめに

北海道は広大な大地と、都市部への医療集中のために医療偏在が大きい地域です。ST 上昇型急性心筋梗塞では発症から治療までの時間を短縮することが、予後改善のために重要ですが、地方で患者様が発生した場合には、都市部まで時間をかけて救急搬送され治療が行われることが多い現状です。

今回、私たちは、北海道が 2014 年度～2015 年度の夏期・冬期に実施した、脳卒中・急性心筋梗塞の急性期医療実態調査のデータを分析することにより、北海道における ST 上昇型急性心筋梗塞の救急搬送状況、治療に到達するまでの所要時間と治療内容、地域差を明らかにするための研究を行います。本研究成果は、地域ごとの医療資源に即した診療体制を構築するための基礎資料となることが期待されております。また、本研究は札幌医科大学倫理委員会の審査を受けた上で札幌医科大学学長の承認を得て行われております。

#### 対象となる方

2014 年 7 月 6 日～8 月 30 日、2015 年 1 月 11 日～3 月 7 日、2015 年 7 月 5 日～8 月 29 日、2016 年 1 月 10 日～3 月 5 日に、発症後 1 週間以内に下記の調査対象医療機関を受診した ST 上昇型急性心筋梗塞の患者様

#### 調査対象医療機関

札幌心臓血管クリニック、手稲溪仁会病院、北海道大野病院、市立函館病院、北光記念病院、釧路孝仁会記念病院、JCHO 札幌北辰病院、苫小牧市立病院、北星脳神経・心血管内科病院、時計台記念病院、勤医協中央病院、名寄市立総合病院、市立札幌病院、KKR 札幌医療センター、北海道医療センター、恵み野病院、函館五稜郭病院、札幌医科大学付属病院、遠軽厚生病院、旭川赤十字病院、王子総合病院、新札幌循環器病院、製鉄記念室蘭病院、旭川厚生病院、帯広厚生病院、国立帯広病院、市立旭川病院、愛心メモリアル病院、小樽協会病院、札幌厚生病院、八雲総合病院、JR 札幌病院、滝川市立病院、旭川医科大学病院、国立病院機構 函館病院、小樽市立病院、岩見沢市立総合病院、北見赤十字病院、札幌循環器病院、NTT 東日本札幌病院、釧路三慈会病院、北斗病院、北海道大学病院、北海道循環器病院、札幌禎心会病院、溪和会江別病院、江別市立病院、札幌東徳洲会病院、市立千歳市民病院、天使病院、北成病院、市立根室病院、北海道立江差病院、札幌中央病院、網走厚生病院、市立釧路総合病院、帯広協会病院、伊達赤十字病院、砂川市立病院、北海道中央労災病院、函館中央病院、網走厚生病院、富良野協会病院、小笠原クリニック札幌病院、深川市立病院、留萌市立病院、小樽中央病院、市立室蘭病院、新ひだか町立静内病院

## 研究内容

北海道から、当講座に提供いただいた急性期医療実態調査データをもとに、統計学的ソフトを用い、心筋梗塞の発生状況や要因、搬送経路、経過時間、治療内容、地域差、予後について分析します。

研究対象者様への費用負担はありません。本研究は外部資金を使用せず、利益相反もありません。

### <解析に用いるデータ>

患者様の年齢、性別、心筋梗塞の既往、心停止の有無、発症場所（市町村・区）、同居者の有無、目撃者の有無、季節、発症時間帯、JCS（PCI 対応機関受診時点）、Killip class（PCI 対応機関受診時点）、時間経過、患者の搬送経路、転帰（転科・転院・退院時、入院中の場合は4週間後にグラスゴーピッツバーグ全身機能カテゴリー[CPC: The Cerebral Performance Categories]にて評価）のすべての調査項目です。

## 対象者様の個人情報の管理について

本研究で使用する急性期医療実態調査においては、個人を特定できる情報は収集されておられません。北海道より個人情報を含まない形でデータの提供を受けるため、札幌医科大学では個人情報を管理していません。本研究実施過程及びその結果の公表（学会発表や論文など）の際に、対象者様を特定できる情報は一切含まれません。

## 対象者様がこの研究にデータを提供したくない場合の処置について

札幌医科大学では個人情報を取り扱っておらず、どのデータが申し出て頂いた対象者の方のデータか判断できないことから、個別にデータを取り除く対応は難しいことを御理解頂けますようお願い致します。

## 対象者様からの相談等への対応

対象者様からの求めに応じて、個人情報の保護及び当該研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、対象者様は研究計画書、資料を入手及び閲覧ができます。これらについて相談等される場合には下記に御連絡ください。

## 研究期間

札幌医科大学学長の承認日から 2024 年 3 月 31 日

## 研究結果の公表

学会及び論文等で公表し、この結果は北海道に提供します。

## データの保管及び廃棄方法

データは、USB メモリに保存し、使用するコンピューターは定期的にアップデートし、ウイルス対策ソフトを更新することによりデータ管理を厳重に行い、本研究結果の最終公表後 10 年間は適切に保管し、廃棄の際は、媒体をシュレッダーにより破棄又は、データの速やかな消去を行います。

## 医学上の貢献

地域社会における医療資源の効率的配分に向けた検討を行う上での基礎資料としての活用や、さらなる予後改善のために地域ごとの医療資源に即した診療体制の構築につながることを期待されます。

### お問い合わせ先

〒060-8556 札幌市中央区南 1 条西 17 丁目

札幌医科大学医学部公衆衛生学講座

研究責任者 大西 浩文

平日・日曜日・祝日・夜間 TEL 011-611-2111 内線 27400

または

〒060-8556 札幌市中央区南 1 条西 17 丁目

札幌医科大学医学部公衆衛生学講座

研究分担者 小山 雅之

平日 TEL 011-611-2111 内線 27420